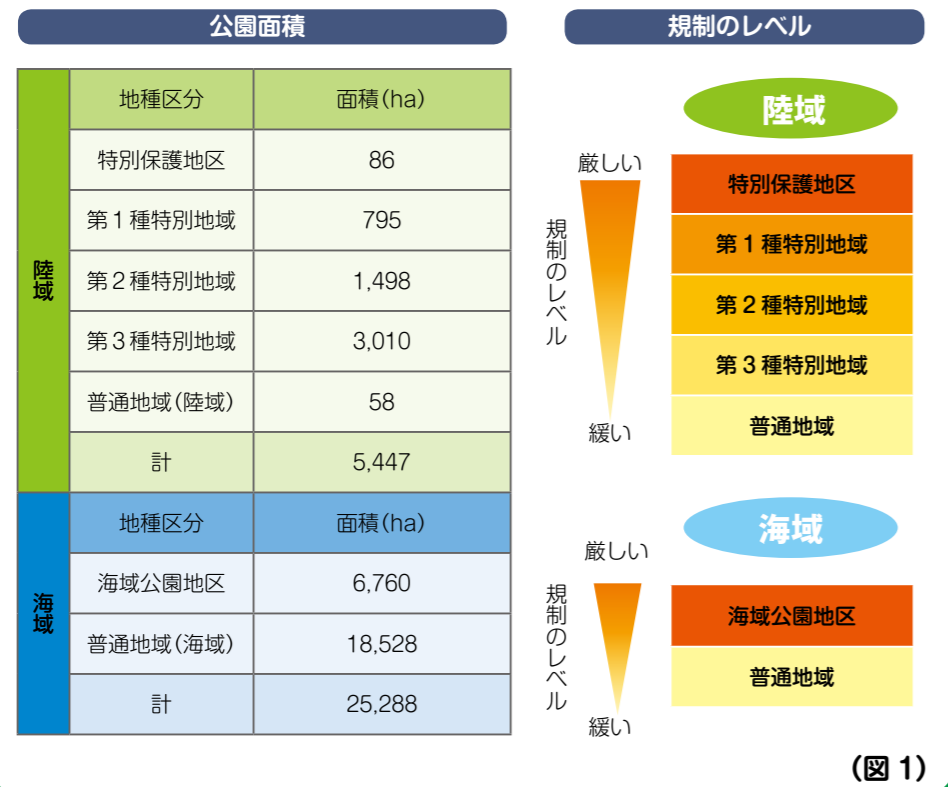




ナポレオン岩



鹿島断崖



(図1)



長目の浜

甕島国定公園が誕生しました

【問合せ先】 〓本庁企画政策課 甕島振興グループ ④(23) 51111 (内線4841)

*4月から甕はひとつ推進室に変わります。

甕島の多様な海岸景観をはじめとした優れた景観などが評価され、平成27年3月16日に国定公園に指定されました。

■国定公園とは

自然公園法に基づき、国立公園に準ずる景勝地として、自然の保護と利活用を目的に指定される「自然公園」の一種で、現在は56カ所が指定されています。

今回の甕島国定公園指定は、57カ所目となり、県内で奄美群島、日南海岸に次いで3カ所目となります。

なお、昭和56年10月に県立自然公園に指定されていますが、今回の国定公園指定に伴い、その指定が解除されました。

■なぜ指定されたの

甕島の有する自然環境は、県立自然公園指定に際した学術調査においては、海岸景観、植物景観、海中景観など、国定公園級の景観要件を備えて

いるとの総合評価がなされてきました。

近年では、同島が次のとおり選定され高い評価を得ています。

▼平成13年12月
甕島周辺沿岸が日本の重要湿地500に選定

▼平成21年5月

鹿島断崖に見られる特異な地質構造である「甕島の白亜紀—古第三紀層」が日本の地質100選に選定

▼平成24年5月

「甕島の鹿の子断層」が日本の地質構造100選に選定
以上のことから、県において、改めて甕島の自然環境の調査が行われ、県立自然公園区域から陸域を拡大し、海域を追加する形で環境省へ国定公園の指定申し出がなされ、決定の運びとなりました。

■甕島国定公園の特徴

①評価された主な自然資源

海食崖、海食洞、岩礁、砂州と潟湖、リアス海岸、多種多様な化石、海岸植生、多島海、照葉樹林、湿地生態系、サンゴ群集

②主な動植物

▼動物Ⅱ チュウサギ、ミサゴ、ハヤブサ、セイタカシギ、カラスバト、ウミネコ
▼植物Ⅱ ツメレンゲ、ヘゴ、ダルマガク、カノコユリ、ニシノハマカンゾウ

③公園区域

優れた海岸景観を構成する陸域、海岸景観と一体をなす森林地域、希少種の生息が確認されているなど植物の生育地として重要な地域、海岸景観と一体的に海域景観を維持するための海域を区域としています。

■指定に伴う効果と規制

国定公園に指定されることにより、急激に生活が変化することはありませんが、国定

公園として全国で紹介されることになり、知名度の向上による交流人口の増加など観光振興への寄与が期待されます。国定公園は、地域の自然そのものや自然風景を保護するため、一定の行為には規制がかかります(許可制または届出制)。

ただし、集落のある地域は、規制区域になっていませんので、島民の方の普段の生活には影響ありません。(区域の詳細につきましては、お問い合わせください)

また、規制のレベルおよび公園の面積については、図1のとおりです。

■これから

甕島にまだ行かれたことがない方は、ぜひ一度訪れてみてください。島の自然に触れ、学び、感動してみてください。また、人々がどのように島の自然と関わり合い、育んできたのか理解を深め、貴重なこの資源をどのようにして守り、後世に伝え残していくのか、市民みんなで一緒に考える機会にしましょう。

